

画像 5000 万点超から浴室壁をデザイン

ノーリツは、システムバス「ユパティオ」・「ユパティオヒロイ」シリーズで、5000 万点以上のイラスト・画像の中から浴室内の壁デザインを選ぶことができるオーダーシステム「アートウォールプラス」を8月1日より発売。

ユパティオシリーズでは、これまで、業界最多となる500通り以上の組み合わせが可能な浴室内の壁デザイン「アートウォール」を用意しており、「おふろという空間でも自分のこだわりを実現できた」、「他の家とは違う独自性の高い家づくりができる」などと好評をいただいております。今回「アートウォールプラス」の導入により、従来の約10万倍となる、実に500万



点以上の壁デザインでお好みのバス空間が演出可能となり、おふろでのさらなる付加価値を提供します。「アートウォールプラス」はインテリアに対するこだわりの高い30~40代、自身のライフスタイルを確立した50代以上のアクティブシニアを主なターゲットとしています。

情報提供：ノーリツ

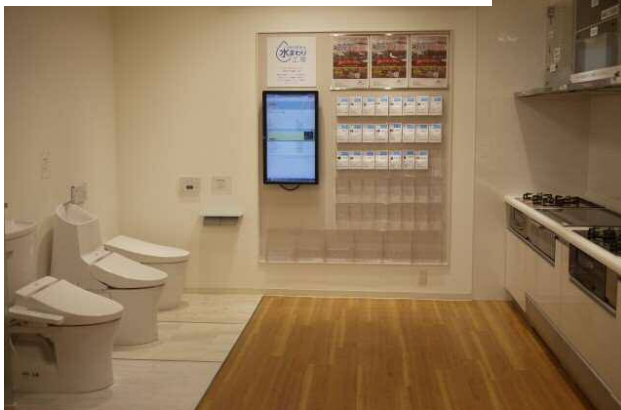
マンションリフォーム特化型のショールームを開設

クリナップは9月15日、同社初となるマンションリフォームに特化した江戸川ショールームを東京都江戸川区に新設した。マンション比率が7割を超える城東エリアに出店し、マンションリフォーム層を取り込むことで、同社が注力してきたリフォーム需要への対応をさらに加速させたい考え。

展示面積は69坪(227.7m²)でシステムキッチン、システムバスルーム、洗面化粧台のほか、トイレも含めた水まわり全般を展示することで、ワンストップ提案を可能にした。また、システムキッチンのバリエーションは1800cmから2250cmまで15cmピッチで9種取りそろえるなど、マンションリフォームならではの品ぞろえになっている。

佐藤茂代表取締役社長は、「今後はマンションリフォームを一つのターゲットとしてとらえる。既存ショールームにマンションリフォームコーナーを設けたり、さらには東名阪のマンションエリアへの新規出店も視野に入れる」と、意気込みを語った。

トイレも展示ワンストップサービスを目指す



情報提供：クリナップ

35歳以下の若手建築家による建築の展覧会2017、大阪で10月に開催



NPO法人アートアンドアーキテクトフェスタは、**35歳以下の若手建築家による建築の展覧会2017を、10月20日から30日まで大阪駅前・うめきたシップホールにおいて開催する。**

これからの活躍が期待される35歳以下の若手建築家を全国から公募し、建築評論家・建築史家 五十嵐太郎氏による厳正な審査を経て、出展する7組の建築家を選出。

出展する建築家は、齋藤隆太郎氏(DOG一級建築士事務所)、酒井亮憲氏(studio[42])、千種成顕氏(ICADA)、野中あつみ氏+三谷裕樹氏(ナノメートルアーキテクトチャー)、前嶋章太郎氏(前嶋章太郎建築設計事務所)、三井嶺氏(三井嶺建築設計事務所)、安田智紀氏(アトリエト

ト)。8年目となる今年は「若さが、問うもの。若さに、問うもの。」がテーマ。10月21日の記念シンポジウムでは、出展者によるプレゼンテーションやゲスト建築家とのディスカッションをおこなうほか、優秀な展示作品に対して「Under 35 Architects exhibition 2017 Gold Medal賞」が授与される。

情報提供：新建ハウジング